

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	看護理論			担当教員	玉井 なおみ、鈴木 啓子、永田 美和子、清水 かおり、横川 裕美子、田場 真由美、グレッグ美鈴、流郷 千幸、阿部 正子
jgygn005	科目名 (英)	Nursing Ethics			E-mail	c.ryugou@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	後学期		430 (流郷)	月曜日 4 限	月曜日 5 限
1. 授業の概要						
卓越した看護実践の基盤となる看護や関係領域に関する諸理論について、歴史的背景を概観し、看護学の発展過程について理解する。加えて、看護理論の基本構造を理解し、特定の現象について理論的に説明できることを目的とする。さらに、看護実践や研究へ理論の適応について考察する。内容についてはプレゼンテーションを中心に参加型の授業を展開する。						
2. 到達目標						
① 看護理論の発展過程と歴史的背景説明できる。 ② 主な理論の基本構造と特徴を説明できる。 ③ 看護実践や研究への理論の適用について説明できる。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
4. 授業計画と内容						
第 1 回 看護理論の概要(看護のメタパラダイム,理論とは,看護理論と実践・研究) 流郷千幸 第 2 回 看護理論の種類と歴史的発展過程 流郷千幸 第 3 回 オレム看護理論(セルフケア看護理論) 鈴木啓子 第 4 回 レイニンガー看護理論(ケアリング理論) 横川裕美子 第 5 回 ロイ看護理論(適応モデル) 流郷千幸 第 6 回 ベナー看護理論(現象学的看護論) 清水かおり 第 7 回 ワトソン看護理論(ケアリング理論) 永田美和子 第 8 回 M.ニューマン看護理論(拡張する意識としての健康理論) 玉井なおみ 第 9 回 ベンダー看護理論(ヘルスプロモーション) 田場真由美 第 10 回 危機理論/悲嘆理論 阿部正子 第 11 回 ストレスコーピング理論 流郷千幸 第 12 回 トランスセオレティカルモデル/プリシード・プロシードモデル 田場真由美 第 13 回 オーランド看護理論 清水かおり 第 14 回 スワンソンケアリング中範囲理論 グレッグ美鈴 第 15 回 各自の研究に関連する理論および概念等の検討結果の発表						
5. テキスト・参考文献						
参考図書： ・ロレイン・オルゼウス・ウォーカー他(中木高夫・川崎修一訳)：看護における理論構築の方法,医学書院,2008. ・カレン・グランツ,他(曾根智史他訳)：健康行動と健康教育 理論,研究,実践,医学書院,2006. ・Karen Glanz, et al: Health Behavior and Health Education Theory, Research, and Practice, Forth Edition, Jossey Bass,2008. ・筒井真優美編著：看護理論家の業績と理論評価,医学書院,2015. ・ジョン・R・カッタークリフ他(山田智恵里監訳)：看護の重要コンセプト20,看護分野における概念文責の試み,エルゼビアジャパン,2008. ・アン・マリナー・トメノ他(都留伸子監訳)：看護理論家とその業績 第3版,医学書院,2004. ・フォーセット(大田喜久子,筒井真優美監訳)：看護理論の分析と評価 新訂版,医学書院,2008. ・野川道子編著：看護実践に活かす中範囲理論,メヂカルフレンド社,2010. ・シャーリー・M・ジューグラー他(竹尾恵子監訳)：理論に基づく看護実践,医学書院,2002. ・佐藤栄子編著：事例を通してやさしく学ぶ中範囲理論入門第2版,日総研,2009.						
6. 準備学習						
参考図書、事前に配布されたプレゼンテーション資料を読み、理論の概要と用語について理解しておくこと。事前に提示されたディスカッションテーマについて準備し授業に臨むこと。						
7. 成績評価の方法						
・授業への参画(看護理論をクリティークする力、プレゼンテーション、討論への積極的参加) 50点 ・課題発表及びレポート(1つの看護理論をとりあげ、研究もしくは実践への応用について考察する) 50点						
8. 履修の条件						
特に無し						
9. その他						
参考図書は、各担当教員からも紹介があります。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	看護学研究方法論I			担当教員	玉井 なおみ、グレッグ 美鈴、 流郷 千幸
jgygn012	科目名 (英)	Introduction to Nursing Research			E-mail	
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	前学期				
1. 授業の概要						
看護における研究の意義と役割を理解し、研究における理論、概念枠組み、研究デザイン、文献クリティーク、研究方法について理解を深め、さらに研究計画、研究倫理、論文作成など研究プロセスについて理解する。また研究に必要な技術を身につける。						
2. 到達目標						
①看護における研究の意義と役割を理解する。 ②研究疑問に沿った研究方法を理解する。 ③論文作成のプロセスを理解する。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
4. 授業計画と内容						
第1回 ガイダンス 文献検索の方法と実際 玉井なおみ 第2回 看護研究の意義 看護研究の基本的なプロセス 流郷千幸 第3回 研究における理論と概念枠組み 玉井なおみ 第4回 研究課題と研究デザイン 玉井なおみ 第5回 質的研究のプロセス グレッグ美鈴 第6回 質的研究と分析 グレッグ美鈴 第7回 質的研究の文献クリティーク グレッグ美鈴 第8回 質的研究の文献クリティーク グレッグ美鈴 第9回 量的研究のプロセス 流郷千幸 第10回 量的研究と統計的解釈 流郷千幸 第11回 量的研究の文献クリティーク 流郷千幸 第12回 量的研究の文献クリティーク 流郷千幸 第13回 研究倫理 研究計画書の作成 玉井なおみ 第14回 研究計画書発表 流郷千幸/玉井なおみ 第15回 研究論文の作成・学会発表、看護研究の今後の課題 玉井なおみ						
5. テキスト・参考文献						
<テキスト> ・黒田裕子、中木高夫、逸見功監修 (2015) : 「バーンズ&グローブ 看護研究入門 第7班」 <参考文献> ・グレッグ美鈴、麻原きよみ、横山美江 (2016) : よくわかる質的研究の進め方・まとめ方, 医歯薬出版 ・APA (2010)/ 江藤裕之他訳 (2011) : APA論文作成マニュアル (第2版), 医学書院, 東京, ・小玉津子/輪湖史子訳 (1999) : 看護研究計画書作成の基本ステップ, 日本看護協会出版会 ・山川みやえ, 牧本清子 (2014) : 研究手法別チェックシートで学ぶよくわかる看護研究論文のクリティーク, 日本看護協会出版会 ・牧本清子 (2013) : エビデンスに基づく看護実践のためのシステムティックレビュー, 日本看護協会出版会						
6. 準備学習						
各回、事前課題を提示するので準備して授業に臨むこと。						
7. 成績評価の方法						
・授業への参加状況50点 (評価視点: 授業へのコミットメント, 問題発見および解決への努力, プレゼンテーションの適切さ) ・レポートの内容50点: 研究計画書提出 (評価視点: テーマ・研究デザイン・研究方法の整合性, 文献の活用, 論理的な文章構成, 言語表現の適切さ)						
8. 履修の条件						
特に無し。						
9. その他						
修士論文作成のための基礎となり、専門演習や特別研究にもつながる科目である。主体的な取り組み、積極的な意見交換を行いながら理解を深めることが求められる。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	看護学研究方法論II			担当教員	木村 安貴、阿部 正子
jygn019	科目名 (英)	Introduction to Nursing ResearchII			E-mail	y.kimura@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	後学期	2-6	研究 426 (木村安貴) 研究 423 (阿部正子)	火曜日・木曜日 7限	集中講義
1. 授業の概要						
看護研究に必要な分析方法の原理や手法を学習する。主に、質的研究と量的研究の特徴を踏まえ、質的および量的データの解析方法について学修する。						
2. 到達目標						
看護実践の発展に貢献する研究方法論を学び、専門演習、特別研究を実施するための基盤を作り、今後の研究活動に活用できることを目標とする。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
DP1: 量的研究と質的研究における分析手法について演習を通して実践することで、科学的思考に基づいた研究能力を身につける。						
4. 授業計画と内容						
第1週 質的研究と量的研究について・コースガイダンス (木村安貴)						
第2週 量的研究方法 【記述統計と推測統計】 (木村安貴)						
第3週 量的研究方法 【基本的な推測統計: 2群間および多群間の比較、相関分析】 (木村安貴)						
第4週 量的研究方法 【基本的な推測統計: 多変量解析】 (木村安貴)						
第5週 量的研究方法 【演習: 量的研究の文献クリティーク】 (木村安貴)						
第6週 量的研究方法 【演習: SPSSを用いたデータ解析 記述統計】 (木村安貴)						
第7週 量的研究方法 【演習: SPSSを用いたデータ解析 単変量解析】 (木村安貴)						
第8週 量的研究方法 【演習: SPSSを用いたデータ解析 多変量解析】 (木村安貴)						
第9週 質的研究方法 【M-GTAの基本特性①】 (阿部正子)						
第10週 質的研究方法 【M-GTAの基本特性②】 (阿部正子)						
第11週 質的研究方法 【M-GTAを用いた研究例の検討】 (阿部正子)						
第12週 質的研究方法 【演習: 分析テーマの設定】 (阿部正子)						
第13週 質的研究方法 【演習: 分析ワークシートを使った概念生成】 (阿部正子)						
第14週 質的研究方法 【演習: 概念間の関係性の検討】 (阿部正子)						
第15週 ミックスメソッド法について (木村安貴)						
5. テキスト・参考文献						
・木下康仁 (2020), 定本M-GTA 実践の理論化をめざす質的研究方法論, 医学書院, 東京						
6. 準備学習						
・Denise F. polit, Chery Tatano Berck (2004)/近藤潤子 監訳 (2010) 看護研究 原理と方法, 医学書院, 東京						
・Marcello Pagano, Kimberlee Gauvreau (2000) /正弘 監訳 (2003) ハーバード大学講義テキスト 生物統計学 入門, 丸善株式会社, 東京						
・中山和弘 (2018) 看護学のための多変量解析入門, 医学書院, 東京						
・石村貞夫, 石村光資郎 (2017), SPSSによる統計処理の手順, 東京図書, 東京						
・石村貞夫, 石村光資郎 (2015), SPSSによる分散分析と多重比較の手順, 東京図書, 東京						
・対馬栄輝 (2008) SPSSで学ぶ衣料系多変量データ解析, 東京図書, 東京						
・木下康仁編著 (2005), 分野別実践編M-GTA, 弘文堂, 東京						
・木下康仁 (2009), 質的研究と記述の厚みM-GTA・事例・エスノグラフィー, 弘文堂, 東京						
・サトウタツヤ, 春日秀朗, 神崎真実編 (2019), 質的研究法マッピング, 新曜社, 東京						
7. 成績評価の方法						
・質的研究の活動状況50点 (評価視点: 授業へのコミットメント, 問題発見および解決への努力, プレゼンテーションの適切さ)						
・量的研究の活動状況50点 (評価視点: 授業へのコミットメント, 問題発見および解決への努力, プレゼンテーションの適切さ)						
・合計 100点満						
8. 履修の条件						
履修の条件: 看護学研究方法論Iの単位を修得していること						
9. その他						
・この科目は集中講義で実施を予定しています。詳細はあらかじめ周知しますので、日程を調整して出席すること。						
・量的研究の演習ではSPSSを使用します。あらかじめメディアネットワークセンターでSPSSのソフトがインストールされているパソコンを借用して、授業にのぞむこと。						
・必修科目であり、修士論文作成のための基本になる科目のため、学生主体でプレゼンテーションを重ね、専門演習、特別研究に継続させてほしい。						
・集中講義で実施するため、あらかじめスケジュールを確認し、日程を調整すること。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	沖縄のケアリング文化			担当教員	大城 凌子
jygn026	科目名 (英)	Nursing in Okinawan Culture			E-mail	ryouko@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
1単位	学年指定なし	前学期	2~3	看研13 (大城) 非常勤講師控室 (宇座美代子)	金曜日2限 講義前後30分	火曜日1限—2限
1. 授業の概要						
<p>沖縄の地理的・歴史的背景を踏まえ、沖縄の文化として脈々と受け継がれてきたケアリングの在り様を探究し、沖縄の生活や文化に根ざしたケアリングの要素を、多角的、学際的側面から捉えることを試みる。前半は、沖縄の歴史や文化を概観しながら、沖縄の人々の暮らしの中に息づく文化や共同体に支えられた他者との関係性に着目して、沖縄のケアリング文化の特質と普遍性を考察する。後半は、沖縄の文化とケアリングの現象 (事例) を検討しながら、沖縄の文化に根ざした看護研究の方法や展望について学修する。</p>						
2. 到達目標						
<p>1) 沖縄の人々の生活文化に根ざしたケアリングの現象を多角的に考察する 2) 沖縄の文化とケアリングに関する事例を分析し、沖縄のケアリング文化の特性を考察する 3) 沖縄の文化とケアリングの現象を探索する方法論的視点を理解する 4) 沖縄のケアリング文化を活かした看護実践と今後の展望について考察し、自らの意見を論述する</p>						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
<p>本科目の到達目標は看護学科の学位プログラムのDP1・4と密接に関連している。到達目標の1)~8)を達成することで「豊かな教養」「高い倫理性」「生命の尊厳と人権を尊重し擁護する力」を身に付けることができる。また、DP2「地域社会の課題の課題に取り組み、探求し続けるための生涯学習力」(主体的意欲・態度)、DP3「自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力」(知識・技能・思考力・判断力)、DP4「多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力」(表現力)、DP5「看護を計画的に実践する力」(知識・技能)、DP6「地域と協働・連携する力」(協働参画力)を身に付けることができる。</p>						
4. 授業計画と内容						
<p>第1週(5/13) コースガイダンス 沖縄の文化とケアリングに関する研究の動向 (大城凌子) 第2週(5/20) 沖縄の年中行事 (日常生活) とケアリングの現象 (大城凌子) 第3週(5/27) 誕生と看取りに関わる沖縄の習俗とケアリング (大城凌子) 第4週(6/3) 沖縄の文化と看護研究 (宇座美代子) 第5週(6/10) 沖縄の文化に根ざした看護研究の展望① (宇座美代子) 第6週(6/17) 沖縄の文化に根ざした看護研究の展望② (宇座美代子) 第7週(7/1) プレゼンテーション・ディスカッション (大城凌子) 第8週(7/8) プレゼンテーション・まとめ (大城凌子)</p>						
5. テキスト・参考文献						
テキスト・参考文献：授業ごとに、資料及び参考文献を提示するので、自己学習して臨んでください。						
6. 準備学習						
授業は、講義とゼミナール方式で行う。事前学習を行い参加してください。						
7. 成績評価の方法						
<p>・ 授業への参画 (討議への参加, 課題発見及び解決に向けた提案, プレゼンテーション内容等) 50点 ・ レポート (この科目を学んで、学生自身の研究や今後の看護実践にどう生かせるかをまとめる) 50点</p>						
8. 履修の条件						
特になし						
9. その他						
<p>感染対策を講じた上で、原則として対面式 (状況に応じてon-lineも可) で講義を行うが、コロナウィルス感染拡大の状況に応じて、講義形態は変更の場合がある</p> <p>※シラバスはクラスの状態、講義の進行状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解下さい。</p>						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	看護教育学			担当教員	清水 かおり
jgygn033	科目名 (英)	看護教育学			E-mail	kaoris@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	前学期	5～8名	看護学科棟研究室 6	月曜日 5 限目、金曜日 5 限目	火曜日 6限目
1. 授業の概要						
教育学、および看護教育学の理論を学習し、看護基礎・卒後教育課程、あるいは継続教育に携わる看護職者が教育的機能を果たすために必要な基本的知識・技術を修得し、教育・実践領域において系統的な教育活動を展開できる能力を養う。						
2. 到達目標						
1) わが国における看護基礎教育の歴史の変遷を学習し、看護学教育の法的基盤や制度について基礎的な知識を身につける。 2) 看護教育課程の多様性について学習し、看護基礎教育の現状と課題について討議する。 3) 教育活動を効果的に展開するために必要な教育学の基本的な知識を身につける。 4) 看護学生や看護職に対する教育的な関わりや環境づくりを含む、看護教育に関する知識、理論、方法論、指導技術を習得する。 5) 学習者の動機づけを高め、自己教育力を育む授業・実習展開方法、および教育評価について理解する。 6) 看護教育学研究の成果と看護教育学の発展の過程を学習し、学術的な問題解決の方法を討議する。 7) 諸外国の看護基礎教育と比較検討し、看護の専門性を高める看護教育のありかたについて考察する。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
本授業の到達目標は、看護学科の DP と密接に関連している。 科目の到達目標を達成することで、以下の DP を身につけることができる。 DP1.科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力 DP2.地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習力 DP3.地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し、多職種と協働し看護を実践する能力 DP4.グローバルな視野で、看護の役割を創造する能力						
4. 授業計画と内容						
第1週 コースガイダンス、看護教育学とは何か 専門職としての看護:専門職とは何か、実践の学問としての看護学 清水 かおり 第2週 看護教育制度① 看護教育制度の歴史の変遷 清水 かおり 第3週 看護教育制度② 看護教育制度の現状、准看護師問題 清水 かおり 第4週 看護学教育の基盤 アイデンティティ、クリティカルシンキング、リフレクション グレグ美鈴 第5週 看護学教育の基盤 キャリアマネジメント グレグ美鈴 第6週 教育学① 戦後沖縄の子どもと社会 嘉納 英明 第7週 教育学② 学校と地域での学びをふりかえり、これからのを考える 嘉納 英明 第8週 カリキュラム 清水 かおり 第9週 学習理論と学習方法：成人教育技法、シミュレーション教育 清水 かおり 第10週 学習方法：アクティブラーニング 松下 聖子 第11週 臨地実習における教育と学習：教育的ケアリングモデル・経験型実習教育、臨地実習を通して看護学生が直面しやすい問題について考える 清水 かおり 第12週 外国における看護学教育 米国・英国・中国における看護学教育 清水 かおり 第13週 教育評価 教育評価とは何か、教育評価の考え方、看護学教育での評価の実際 舟島 なおみ 第14週 看護教育学研究 舟島 なおみ 第15週 専門職としての看護の専門性と看護教育学 (まとめ) 清水 かおり						
5. テキスト・参考文献						
グレグ美鈴、池西悦子編集 (2018) 「看護教育学(改訂第2版): 看護を学ぶ自分と向き合う (看護学テキストNICE)」 南江堂。						
6. 準備学習						
事前に提示された学習課題に取り組み授業に参加すること。事前に該当テキストおよび配布された資料を読みこみ授業に臨むこと。						
7. 成績評価の方法						
・活動状況60点 (評価視点：授業へのコミットメント、問題発見および解決への努力、プレゼンテーションの適切さ) ・レポートの内容40点 (評価視点：テーマとの整合性、論理的な文章構成、言語表現の適切さ、文献活用の適切さ) ・合 計 100点満点						
8. 履修の条件						
特になし						
9. その他						
講義に関する連絡や、授業資料、課題の提出はMicrosoft Teamsにて掲示します。講義資料や事前課題は事前に確認し、必要であれば各自ダウンロードをしてください。課題レポートは、Google classroom、Google foamを活用して提出を課します。また、シラバスはクラスの状況、講義の進行状況、学外講師の都合等によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。受講後の振り返りは、google foamにて行います。QRコード、もしくはURLを提示しますので、回答後に送信してください。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	看護倫理学			担当教員	小西 清美
jgygn040	科目名(英)	Nursing Ethics			E-mail	konishi@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	前学期	2~3	看研7		
1. 授業の概要						
看護における倫理的問題を解決できる能力を養うために、看護専門職に必要な看護倫理の基礎的知識と倫理的思考方法について事例を通して学ぶ。						
2. 到達目標						
1) 看護倫理に関する重要な用語や概念を理解する。 2) 倫理的意思決定のプロセスを理解する。 3) 倫理的問題に関する感受性を高め、看護専門職としての責任と役割を理解する。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
4. 授業計画と内容						
第1週 ガイダンス 第2週 看護専門職の責任と倫理 第3週 倫理的ジレンマと対処 第4週 看護倫理のアプローチ 第5週 倫理的意思決定モデル 第6週 倫理的思考方法－事例演習(1) 第7週 倫理的思考方法－事例演習(2) 第8週 まとめ						
5. テキスト・参考文献						
小西恵美子編：看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ、南江堂						
6. 準備学習						
特になし						
7. 成績評価の方法						
1) レポート課題:70点 2) 受講態度:30点						
8. 履修の条件						
特になし						
9. その他						
特になし						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	看護管理学			担当教員	横川 裕美子
jgygn047	科目名 (英)	看護管理学			E-mail	yyokogawa@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	後学期	6名まで	新研究棟424、他	授業時に提示する	火6 (学外講師は土曜日に開講する可能性有り)
1. 授業の概要						
保健看護サービスシステムの現状および看護職が直面している課題を把握し、現場の変革を推進するために必要な看護管理に関する体系的知識・技術を有効に活用できる能力を養う。						
2. 到達目標						
①看護管理の基本的な知識・技術を修得し、現状と課題について説明できる ②看護の現場の変革を推進するために、課題と解決策について説明できる						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
本授業の到達目標は、看護学前期課程のDPと密接に関連している。 到達目標①②を達成することで、国内・国外で活躍する看護職になるために必要とされる「地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習力」「地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し、多職種と協働し看護を実践する能力」を身につけることができる。またオムニバス授業によって看護の課題を多角的に考える能力を身につけることができる。						
4. 授業計画と内容						
授業計画と内容：日程は調整中、*印は変更の可能性有り (8月15日現在) 第1回(10/3)オリエンテーション、医療サービスにおける看護ケアの現状と看護管理の動向 (横川) 第2回(10/10)医療チームにおけるリーダーシップ・メンバーシップ (同上) 第3回(10/17)医療コミュニケーションとマネジメント (同上) 第4回(10/24)医療安全と看護①看護職の健康と医療安全の関連性 (同上) 第5回(10/31)医療安全と看護②医療安全と暴力 (鈴木) 第6回(11/4)看護師のストレスに関する研究①* (学外講師1) 第7回(11/4)看護師のストレスに関する研究②* (同上) 第8回(11/4)看護師のストレス・コーピング①* (同上) 第9回(11/4)看護師のストレスコーピング②* (同上) 第10回(11/7)金融機関からみた病院経営* (学外講師2) 第11回(12/5)看護管理に関する研究 (学内講師) 第12回(12/12)キャリア開発と看護管理 (学内講師) 第13回(1/20)病院のトップマネジメントの実践 (別府千恵) 第14回(1/20)看護管理におけるコンピテンシーモデルの活用 (別府千恵) 第15回(1/30)今後の看護管理の課題 (横川)						
5. テキスト・参考文献						
特に指定しない。 参考文献：授業担当者から、適宜提示する。						
6. 準備学習						
これまでの臨地実習や臨地・臨床経験の中での看護マネジメントに関連した経験を具体的に振り返ること						
7. 成績評価の方法						
・活動状況50点 (授業への参加度、問題発見および解決への努力、プレゼンテーションの適切性) ・レポート50点 (テーマと内容の適合性、論理的な文章構成、言語表現の適切性、文献活用の適切性) 合計100点						
8. 履修の条件						
無し						
9. その他						
・オムニバス方式で複数の講師が授業を担当する。第5回以降は外部講師が担当する授業時間の調整により、変更する可能性がある。 ・非常勤講師 (学外講師) は土曜日に開講となる場合がある。 ・授業日程の詳細は、後学期の初回授業開始時に説明する予定である。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	コンサルテーション論			担当教員	鈴木 啓子、村上満子
jygn054	科目名 (英)	コンサルテーション論			E-mail	m.murakami@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	1年	前学期	3-4	看護学科棟研究室 8	水曜日20:00-21:00 木曜日20:00-21:00	
1. 授業の概要						
保健医療チームの中でのコンサルテーションについて、する側と受ける側から理解できるように、理論と具体的な事例を通して方法論を学ぶ。また、コンサルテーションを受ける看護師としての自己研鑽のあり方を学ぶ。						
2. 到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> コンサルテーションの方法について理解できる。 看護実践に与えるコンサルテーションの意義について理解することができる。 						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
DPの以下の内容 (特に1, 2, 3) を身につけるようにプレゼンテーションと討議を中心として学修する内容である。						
<ol style="list-style-type: none"> 科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力 地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習力 地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し、多職種と協働し看護を実践する能力 グローバルな視野で、看護の役割を創造する能力 						
4. 授業計画と内容						
第1週 コンサルテーションの定義およびその歴史 第2週 コンサルテーションのタイプ 第3週 コンサルテーションの実践モデル 第4週 コンサルテーションのプロセス 第5週 コンサルタントの関係 第6週 ケース・コンサルテーションとコンサルティ中心のケース・コンサルテーション 第7週 管理に関するコンサルテーション 第8週 組織へのコンサルテーション 第9週 グループ・コンサルテーション 第10週 倫理的問題に対するコンサルテーション 第11週 コンサルテーションの評価 第12週 コンサルテーションと他の治療との違い 第13週 演習 (1) 第14週 演習 (2) 第15週 まとめ						
5. テキスト・参考文献						
テキスト： 小谷英文編著 宇佐美しおり共著(2018)：PASセルフケアセラピー,PAS心理教育研究所出版部 参考文献： ① G.Lippitt & R.Lippitt:The Consulting Process in Action,Second Edition,Pheiffer,1986 ② 宇佐美しおり・野末聖香(2009)：精神看護スペシャリストに必要な理論と技法，(社)日本看護協会出版会						
6. 準備学習						
事前に資料を配布するので読み込み疑問点などを明確化しておくこと これまでの各自が臨床において相談を受けた経験、あるいは相談をした経験を踏まえて、授業で検討してもよい事例をあらかじめ想定しておくこと						
7. 成績評価の方法						
事前学習 20点 講義・演習への参画度 (ロールプレイなどでのコミットメント, プレゼンテーションの適切さ) 80点 合計100点で評価する						
8. 履修の条件						
なし						
9. その他						
<ul style="list-style-type: none"> 授業の資料等は事前にアップロード致しますので、各自で確認ください。事前に提示された学習課題に取り組み授業に参加してください。 ディスカッション形式の授業を展開するため、問題と感じた事例について簡単にまとめておいてください。 テキスト(PASセルフケアセラピー)はPAS心理教育研究所出版部より各自で購入し、準備をしておいてください。 シラバスはクラスの状態、講義の進行状況により変更することがありますので、あらかじめご理解ください。 						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	ヘルスプロモーション論			担当教員	高瀬 幸一
igygn061	科目名 (英)	ヘルスプロモーション論			E-mail	k_takase@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	1年	前学期	5	新研524	月2、金2限、講義後	受講者と調整

1. 授業の概要

本講義では、ヘルスプロモーションの起こりと歴史的背景、健康観についての歴史的変遷、健康政策の現状を講じ、ヘルスプロモーションについて理解した健康政策立案への基本的能力を習得する。また、健康づくりに関する様々な理論からの観点から生活習慣病予防の具体的な知見や方法についても探究するとともに実際の現場におけるヘルスプロモーションについて学習していく。さらに、100歳高齢社会を目指す上においてサクセスフルエイジングを考え、ヘルスプロモーションの理論と事例について学ぶとともに、百寿社会の展望について考えていくことを目的とする。

2. 到達目標

- (1) ヘルスプロモーションの原理、方法、評価法について理解する。
- (2) 国内の実践的活動から健康課題解決につながる施策（政策）について理解する。
- (3) 100歳高齢社会を目指す上においてサクセスフルエイジングに関する事例について理解する。

3. ディプロマ・ポリシー（DP）との関連性

4. 授業計画と内容

授業は、全てAL形式にて実施し、ITCを活用しながら、ヘルスプロモーションに関連する内容についての知識・理論・実践法について討論を交えながら議論する。

第1週 オリエンテーション（ガイダンス）

- ・講義概要の説明。

第2週 ヘルスプロモーションとは

- ・ヘルスプロモーションの概念について基礎的な理論を学習する。

第3週 ヘルスプロモーションとウェルネスについて

- ・ウェルビーイングに関するデザインについて学び、健康増進について考えていく。

第4週 日本の健康の現状

- ・高齢長寿大国日本における健康の現状について考えていく。

第5週 健康行動とヘルスリテラシー I

- ・健康増進に関わる理論について考え、ヘルスリテラシーとは何か考えていく。沖縄の健康・長寿を例にして。

第6週 健康行動とヘルスリテラシー II

- ・健康行動とヘルスリテラシーの関連性から健康増進について考えていく。長野モデルを例にして。

第7週 健康行動とヘルスリテラシー III

- ・健康行動とヘルスリテラシーの関連性から、前回に引き続き健康増進について考えていく。滋賀、青森、その他を例にして。

第8週 ポピレーションアプローチ

- ・健康リスクの改善へ向け、集団全体に働きかける健康増進の取り組みについて考えていく。

第9週 コミュニティと健康 I

- ・ヘルスプロモーションにおけるコミュニティづくりの理論について考えていく。

第10週 コミュニティと健康 II

- ・コミュニティオーガニゼーション、ソーシャルキャピタルについて理解を深める。

第11週 名桜大学におけるヘルスプロモーションに関する取り組み

- ・名桜大学ヘルサボが沖縄県行政機関と連携し協働で実施する健康支援について事例を紹介し、取り組みについて理解を深めていく。

第12週 日本の健康施策 I

- ・国内の地域を対象とした優れた政策について、その特徴や課題などを考え討論を行っていく。

第13週 日本の健康施策 II

- ・国内の地域を対象とした優れた政策について、その特徴や課題などを考え討論を行っていく。

第14週 日本の健康施策 III

- ・国内の地域を対象とした優れた政策について、その特徴や課題などを考え討論を行っていく。

第15週 プロダクティブ・エイジング

- ・100歳時代において社会に貢献しながら年齢を重ねる生き方について事例を交えて考えていく。

5. テキスト・参考文献

テキスト：テーマに応じて関連する資料を適宜配付する。

参考図書：小熊祐子、富田真紀子、今村晴彦 サクセスフルエイジング（3,200円、慶應義塾大学出版会、2014年）

6. 準備学習

講義の履修に際し、指定された参考図書・文献の該当ページを読み、予習と復習を行うこと。

7. 成績評価の方法

討論への参加・貢献度:60点、レポート:40点、合計:100点

8. 履修の条件

特になし。

9. その他

クラスの状況、講義の進行状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解下さい。
随時学生からのニーズを聞きながらup-to-dateな講義を心がける。

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	包括的健康アセスメント			担当教員	永田 美和子
jgygn068	科目名 (英)	Comprehensive Health Assessment			E-mail	miwako@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	前学期	6人程度	研421 (永田) 看研13 (大城) 看研10 (鬼頭)	授業終了後	集中
1. 授業の概要						
複雑な健康問題をもった対象の身体状況について系統的に全身を診査し、臨床看護判断を行うために身体・心理・社会的側面を包括的にとらえる高度なアセスメント能力を養う。身体面としてのフィジカル・アセスメント(Physical Assessment)強化を中心に、心理社会面として心理社会的アセスメント (MSE: Mental Status Examination)、各発達段階の特徴に基づく看護診断を統合した講義・演習によって習得する。						
2. 到達目標						
1 身体面としてのフィジカル・アセスメントについて理解できる。 2 心理社会的アセスメントについて理解できる。 3 病態生理学と看護診断を統合した包括的健康アセスメントについて理解できる。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
DPの以下の内容に到達できるように講義及び演習を中心として学修する内容である。 1.科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力 2.地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習能力 3.地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し多職種と協働し看護を実践する能力 4.グローバルな視点で、看護の役割を創造する能力						
4. 授業計画と内容						
第 1 回	オリエンテーション	ヘルスアセスメントの概念		(藤内美保)		
第 2 回	フィジカル・イグザミネーション	アセスメントの基本①		(藤内美保)		
第 3 回	フィジカル・イグザミネーション	アセスメントの基本②		(藤内美保)		
第 4 回	フィジカル・イグザミネーション	アセスメントの基本③		(藤内美保)		
第 5 回	フィジカル・イグザミネーション	アセスメントの基本④		(藤内美保)		
第 6 回	フィジカル・イグザミネーション	アセスメントの基本⑤		(藤内美保)		
第 7 回	フィジカル・イグザミネーション	アセスメントの基本⑥		(藤内美保)		
第 8 回	フィジカル・イグザミネーション	アセスメントの基本⑦		(藤内美保)		
第 9 回	心理社会的アセスメントの基本①			(鬼頭和子)		
第 10 回	心理社会的アセスメントの基本②			(鬼頭和子)		
第 11 回	シュミレーターを用いた演習			(大城、永田)		
第 12 回	臨地における実践的ヘルスアセスメント①			(永田、大城)		
第 13 回	臨地における実践的ヘルスアセスメント②			(永田、大城)		
第 14 回	臨地における実践的ヘルスアセスメント③			(永田、大城)		
第 15 回	まとめ			(永田、大城)		
5. テキスト・参考文献						
【テキスト】						
1. 藤崎郁 フィジカルアセスメント完全ガイド 学研						
2. Lynn S Bickley著:メディカル・サイエンス・インターナショナルのベイツ診察法						
【参考文献】						
1.野末聖香著「リエゾン精神看護－患者ケアとナース支援のために」医歯薬出版株式会社						
2. G.W.Start et.al(2005)Principles Practice of Psychiatric Nursing 8th edition ,MOSBY (安保寛明・宮本有紀監訳「看護学名著シリーズ－精神看護－原理と実践」)						
6. 準備学習						
事前に掲示した資料に基づいた準備をして授業や演習に臨むこと。						
7. 成績評価の方法						
・活動状況50点 (授業へのコミットメント) レポートの内容50点 (臨地における実践的ヘルスアセスメントレポート) ・合 計 100点満点						
8. 履修の条件						
特になし						
9. その他						
学外での臨地演習も含むため、履修可能な条件を整えること。 コロナ禍の影響で授業計画の変更がある場合には、事前に連絡する。集中講義予定である。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	健康栄養学			担当教員	奥本 正
jgygn075	科目名 (英)	Health Nutrition			E-mail	t.okumoto@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	後学期		人208	月2、木4	
1. 授業の概要						
日本人の現在の栄養摂取量, 食生活, 食習慣の現状とわが国の栄養摂取基準等を理解する。また, 根拠に基づいた栄養学の考え方を知り, 肥満や高血圧, 骨折など身近なテーマを取り上げ, そのテーマの根拠を探し, その根拠を批判的に分析できる能力を高めるような授業を展開する。						
2. 到達目標						
①日本人の栄養摂取, 食生活, 食習慣の問題点を指摘できる。 ②現在のわが国の健康・栄養を知る。 ③食品の分類とその表示について理解する。 ④栄養食事アセスメントの方法を理解する。 ⑤EBNの考え方を知る。 ⑥資料を批判的に講読することができる。 ⑦目的にあったレジユメを作成することができる。 ⑧文献レビューを適切に書くことができる。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
4. 授業計画と内容						
第1週: 日本人の栄養摂取量, 食生活, 食習慣の現状 第2週: 食生活指針, 食事バランスガイド, 食事摂取基準 第3週: 健康日本21, 身体活動の指針2013 第4週: エネルギー消費, 身体活動量の測定 第5週: 食品表示 第6週: 栄養食事アセスメント 第7週: EBNを知る (1) EBNとは何か? 第8週: EBNを知る (2) 栄養・健康情報とEBN 第9週: EBNの実例を知る 1 コレステロールと寿命の関係 第10週: EBNの実例を知る 2 骨折を骨粗鬆症 第11週: EBNの実例を知る 3 食塩と高血圧 第12週: EBNの実例を知る 4 肥満と食行動 第13週: EBNの実例を知る 5 朝食の健康影響 第14週: EBNの実例を知る 6 ダイエット 第15週: 健康情報リテラシー						
5. テキスト・参考文献						
テキスト わかりやすいEBNと栄養疫学, 佐々木敏, 同文書院 参考文献: 栄養データはこう読む!, 佐々木敏, 女子栄養大学出版部 ここがおかしい日本人の栄養の常識, 柴田博, 技術評論社 栄養学雑誌, 日本栄養食糧学会誌, Journal of Nutritional Science and Vitaminology AmJ Clin Nutrition, J Clin Nutrition, J Nutrition 等栄養学関連の雑誌, 疫学分野の雑誌						
6. 準備学習						
後半の講義は, 教科書のデータ読み取り, 原著論文の講読を行い, レジユメ作成を行い, 授業に臨む。そのためには原書論文の検索法と文献の準備が必要となる。また, 身体活動量の測定の課題を実施してから授業に臨む。						
7. 成績評価の方法						
事前の資料準備と授業への参画度30点, レポート2回 (60点), 課題10点						
8. 履修の条件						
特になし						
9. その他						
授業内容は変更になる場合があります。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	病態生理学			担当教員	花城和彦
jgygn082	科目名 (英)	Pathophysiology			E-mail	ka.hanashiro@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	後学期	2~3人	研究棟429	火・木16:30-17:30	
1. 授業の概要						
臨床医学で頻回に遭遇する疾病を教材として、病態を生理学的アプローチから理解し、治療について学ぶ。						
2. 到達目標						
臨床看護で指導的役割を担える人材を育成することを目標にする。 1)自ら論理的に病態を理解・学習できる知識基盤を構築する。 2)病態に関する正しい情報を患者やその家族に説明し、最適な判断の手助けとなれる人材の育成。 3)健康障害があっても、その影響を最小限にする際の専門的判断の知識基盤を構築する。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
①化学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力 ②地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習力 ④グローバルな視野で、看護の役割を創造する能力						
4. 授業計画と内容						
第1回 病態生理学の概要 第2回 病態生理学的研究のすすめ方 第3回 恒常性維持 第4回 体液と電解質バランスの破綻 第5回 循環器系の疾患 第6回 呼吸器系の疾患 第7回 内分泌系の疾患 第8回 免疫・アレルギー疾患 第9回 血液系の疾患 非常勤講師 第10回 痛みのメカニズム 第11回 痛みの制御 第12回 がんの病態生理 第13回 がんと免疫 第14回 症例提示 (ケースレポート) 1 第15回 症例提示 (ケースレポート) 2						
5. テキスト・参考文献						
参考文献 ① 標準生理学：本郷利憲，等(監修)，医学書院（第8版），2018年 ② カラーイラストで学ぶ集中講義 生理学，メジカルビュー社（改訂2版），2014年 ③ Textbook of Medical Physiology, Guyton & Hall, 2016 ④ Pathophysiology: The biologic basis for disease in adults and children. Kathryn L McCance & Sue E. Huether, Elsevier 2019 ⑤ Pathophysiology Study Guide: The biologic basis for disease in adults and children. Kathryn L McCance & Sue E. Huether, Elsevier 2019 ⑥ 100 case studies in Pathophysiology. Harold J. Bruyere, Jr., LWW 2009						
6. 準備学習						
講義タイトルに関連する論文を1編読んできて考察すること。						
7. 成績評価の方法						
授業への討議の参加，レポート，試験により総合的に評価する。 ・事前の資料準備と授業への参画度 30点 ・ケースレポート発表 30点 ・試験 40点 ・合計 100点満点						
8. 履修の条件						
3分の2以上の講義出席をもって期末試験を受験できるものとする。						
9. その他						
特になし。						

UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	英語講読			担当教員	渡慶次 正則
jgygn089	科目名 (英)	Reading in English			E-mail	tokeshizemi@hotmail.co.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	1年	前学期	10	512研究室	月2、木4	月曜日7時限
1. 授業の概要						
英文で書かれた看護の専門誌・論文を購読する力を養うことを目的とする。テキストを中心に、他に一般の新聞や雑誌を読みながら、文法や語句の解説も加えて看護分野に関する基礎読解力を高めたいうえで、専門誌の看護の英語論文を購読する。						
2. 到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、雑誌を辞書なしで読み、意味の概要を把握する。 ・看護の専門雑誌を辞書などを利用して読み、正確な意味を把握することができる。 						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
DP1,看護にかんする様々学術的な文章を英語で理解することにより、知見を深め、専門性を深め、DP2,英語文献講読を通して、海外の看護分野の課題や研究に対して理解を深め、DP3,文献講読をとおして、過去および現代の看護に関する問題を批判的に思考し、DP4,海外の看護に関する事情や研究を通して多様な視点を身に付け、DP5,学術的な英語論文を講読する能力の獲得により、地域および国際社会の看護領域に貢献する素地を育成する						
4. 授業計画と内容						
(状況によりオンライン講義の形態に変更する)						
第1週 オリエンテーション、登録、						
第2週 Unit 1 Tightening Japan's Tobacco Controls						
第3週 Unit 2 A Dangerous Flu Season						
第4週 Unit 3 Coping with Anxiety						
第5週 Unit 4 Autism						
第6週 Unit 5 How to mend a broken heart						
第7週 Unit 6 Herbal Healing						
第8週 Unit 7 A lawful way to die						
第9週 Unit 8 Changes in sleep pattern						
第10週 Unit 9 Confusion						
第11週 Unit 10 A battered-child syndrome						
第12週 Unit 11 Communicating with infants						
第13週 Unit 12 The unique function of nursing						
第14週 Unit 13 How to read abstracts #1						
第15週 Unit 14 How to read abstracts #2						
第16週 Unit 15 A full research article						
5. テキスト・参考文献						
『看護英語読解15のポイント』 園城寺康子ほか、メディカルレビュー社(2,000円+税)						
6. 準備学習						
事前に、テキストや課題について学習をして授業に臨む。						
7. 成績評価の方法						
授業への積極的参加 30点						
事前の購読 50点						
資料の購読 20点						
合計100点						
8. 履修の条件						
教科書は英語版を用いるため、英語能力が高い学生が望ましい。 授業も主に英語で説明する機会が多い。						
9. その他						
事前に予習をしておくこと。 インターネットやPPTを多用してICTの活用に努める 学生が課題の発表を毎回行ない、学生中心の講義を行なう						